



2021-22 年度
福山西ロータリークラブ

例会情報

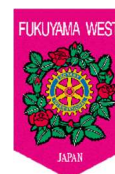
第 1492 回 (39)

会 長 能 登 伸 一
幹 事 河 村 直 孝

クラブ会長テーマ：「ロータリーに参加して自分も人も豊かにしよう！」

日 時 2022 年 6 月 21 日 (火) 12:30 ~
場 所 福山ニューキャッスルホテル
例会行事 点 鐘 ・ ソング 「 楽しい火曜日 」
「ロータリアンの行動規範」唱和
ゲスト・ビジターの紹介 (出席報告参照)
会 長 報 告
幹 事 報 告
出 席 報 告
S A A 報 告
ス マ イ ル 報 告
プ ロ グ ラ ム 情 報
そ の 他 報 告

その他情報 メークアップ情報 (来週分)
メークアップ情報 (再来週分)
今後の行事予定
クラブ活動報告



【 会 長 報 告 】

皆様、こんにちは。

最後の会長報告です！ところが、この後お話しする退任あいさつの原稿をここ数日したためておりました、会長報告のことをすっかり失念しておりました。まったく考えておりません。

先日グループ10、11の会長幹事引継ぎ会に出席しましたが、会場右半分が今年度の会長と幹事で、左半分が次年度会長と幹事がいたわけですが、右の方はとても楽しそうにしてましたが、左半分はちょっと緊張気味な様子だったのが印象的でした。

今年一年本当にありがとうございました。後ほどお話しさせていただきます。

【 幹 事 報 告 】

No.	内 容
1	第2710地区事務局より ・2023-24年度 青少年交換派遣留学生募集について



【プログラム情報】

《 会長・幹事退任挨拶 》

❖ 幹事退任挨拶 … 河村 直孝



皆さんこんにちは。

本年度、なんとか無事幹事の任務を遂行させていただきました。

会歴6年とまだロータリーのことがよく理解できていないながら、皆様のご指導を頂きながらやってこれました。

今年度もコロナ禍で運営に非常に苦労しましたし、例会をリアル開催して良いのかの判断にも悩みました。今年度は、本日を含め年間41回の例会を予定して、2回のみ休会となりました。うち1回は9月10日のガバナー訪問が延期となりました。

今年の印象に残った行事を振り返ってみました。

今回初めて福山北ロータリークラブと合同で、ガバナー訪問とクラブフォーラム行ったことです。コロナ禍でガバナーに無理を言って延期してもらったのと、初めての合同でのガバナー訪問とのことで、スケジュールや段取りをかなり苦労しました。

ロータリー奉仕デーについては、鞆の浦ロータリーと中小企業家同友会との合同の福山北特別支援学校とぬまくま特別支援学校への学校参観で、障害者に対するイメージが変わったのと、3団体が一緒に活動できたことの充実感を感じる事が出来ました。

懇親会では、松永茶寮での忘年例会。なかなか、リアルで会食も制限がある中で開催出来たこと。新年同伴例会は、前日に歌のアトラクションの中止を決定しながらも懇親が出来たこと。

会員増強に向けてのオープン例会を開催し、5名の候補者が参加して例会が盛り上がった事。

G10.11 合同 IM が福山ロータリーと福山西ロータリーで無事開催出来たこと。

2710 地区で、マツダスタジアムでロータリーとポリオの撲滅の PR が出来たこと。試合は、ぼろ負けでしたが。

今年度、能登会長の重点目標のチェックしてみました。

- | | |
|----------------------|---|
| ① 会員数純増2名以上、女性会員1名以上 | × |
| ② 会員同士の結びつき強化 | △ |
| ③ 障がい者支援の具現化 | ○ |
| ④ ロータリー奉仕デーの企画と実行 | ○ |
| ⑤ 委員会メンバー全員参加の委員会活動 | △ |
| ⑥ クラブのDX 推進 | ○ |
| ⑦ ロータリー賞へのチャレンジ | ? |

今年度、幹事として自信をもってやったといえることは、クラブ DX の一つで ZOOM を使ってオンラインで皆さんと繋がることが出来たことです。その結果、会場とオンラインのハイブリッド例会を開催が出来たこと、理事会も ZOOM で問題なく開催できるようになりました。

私は、今年度、能登会長と西ロータリーを楽しく運営してきたつもりです。理事会でも二人の無理を聞いていただきありがとうございます。但し、会員数の増加には、つながらなかったのが残念です。

最後に皆様、未熟な幹事を広い心で自由に活動させていただきありがとうございました。また、三ヶ島さんには、大変お世話になりました。例会の前後では必ず確認の電話を頂き感謝しています。

以上で幹事の退任のあいさつとします。

ご清聴ありがとうございます。





❖ 会長退任挨拶 … 能登 伸一



皆様、本日をもって会長というおおきなお役目を終えることになりました。皆さんに感謝の気持ちを込めまして、この1年を振り返りたいと思います。

私が会長をしていて、皆さんにとってちょっと違うんじゃないの、みたいなことも多分、多々あったのではないかと思います。就任するときに、どうかそんな時には厳しく言ってください、私の取り柄は素直に聞くことです、けっしてはぶてたりしませんと申しましたが、実際にはみなさん優しく、そんなことはほとんどありませんでした。ところが、「あなたの好きなようにすればいいのよ」と優しいことばが今となっては曲者で、1年経って自分のとった行動を思い出すと恥ずかしく思うことも結構あります。

私が今年度掲げたテーマは、「ロータリーに参加して自分も人も豊かにしよう！」です。“豊かさ”にはいろんな意味があるわけですが、いろんな知識（ロータリーに関する事やクラブメンバーに関する事など）が増える事や、気遣い・気配りを学ぶことだったり、単純に同じクラブの方々はもちろんですが、他のロータリークラブの方々とは知り合えることも豊かさだと思いますが、私は会長という役を頂いたおかげでそういったことを実感しています。ロータリーに参加すればするほど、今言ったような機会は増えることを身をもって体験しました。そういうことで私はいろんな意味で豊かになった気がしますが、人を豊かにできたかどうかはちょっと自信がありませんが、思い起こしてみます。

この1年もまた、コロナの影響を少なからず受けました。でも杉川ガバナーの、何とか工夫してやれることはやりましょう、大変だったけどいろんなことができた皆で達成感を味わいましょう、という言葉は私の胸に刺さりました。それは河村幹事も同じでした。それで塩川ガバナー補佐のご意見も聞きつつ、各委員会の委員長をはじめ皆様のご協力によってコロナ禍でもいろんなことができました。先週、理事役員退任あいさつの時間で、私と河村さんが絶妙のコンビでよかったよ、と何人かの方がおっしゃってましたが、私もそう思います。河村さんとは中学校の時から知り合いです。ちょくちょくゴルフしたり、海外旅行に行ったこともあります。私はどちらかというといろんなことを気にする繊細なタイプ。河村さんは血液型B型の典型（B型の方、すみません）、ちっちゃいことは気にしない、いいよ

うに言えば大らかタイプです。今日は悪いようにはいいません。それでいてIT 関係に知識が豊富で、私とはとにかうまく調和がとれていたのではないかと思います。彼のおかげでZOOMによる理事会も普通に行えるようになりましたし、言いにくいことも私に代わって結構すばって言うてくれたり（多分ご本人はその自覚はないと思いますが）、本当に幹事が河村さんでよかったと思うことがしばしばでした。ちょっと照れくさいですが、この場をお借りして河村さんに改めてお礼を言わせて頂きます。有難うございました。そして事務局の三ヶ島さんにもすごく助けて頂いて感謝しています。何分入会7年目の会長、それから5年目の幹事というコンビに対していつも、“こうする方がいい”とか”こうしたらどうですか”“みたいなことではなく、あくまでも私たちの意見を尊重する形で、過去はこういう場合はこんな対応しました、というふうに上手に教えてもらって、間違いのないように促してくれました。そしてつい忘れてしまいそうなことには、いつもタイミングよく三ヶ島さんが気づかせてくれたこともしばしばありました。三ヶ島さん、ありがとうございました。

そんな中、私としての達成感は何と言ってもロータリー奉仕デーです。鞆の浦ロータリークラブさんと中小企業家同友会さんと一緒に、支援学校を訪れて授業参観をしました。皆さんが、いわゆる障がいをもつ子どもたちが、働きたい、世の中に役に立ちたいと思って頑張っている姿をご覧になって何か感じて頂けることがあったと思いますし、支援学校の方々もとても喜んでいました。この時の様子は新聞、テレビにも取り上げられ、ロータリークラブのPRにもなりました。このロータリー奉仕デーがきっかけとなって福山北特別支援学校とのつながりができて、今後も物的支援を含めて継続していくことになりました。鞆の浦RCさんは沼隈特別支援学校の評議員になってこちらも何らかの形で関係が続いていくそうです。次年度は、私も責任を取って青少年奉仕委員長として笹田会長に相談しながらこの活動を続けていきますので、このことについて皆さん、どうぞよろしく願いいたします。

コロナ禍ではありましたが、私としてはまさにやれることはやった1年だったと思っています。奉仕活動に目を向けますと、コロナの状況が厳しくなったり緩やかになったりというなかで、常に最善の形で計画に基づいて活動ができたのではないのでしょうか。改めてお疲れ様でしたと言わせて頂きます。中学校吹奏楽祭りでは、いつものイベントはできませんでした。北委員長とともに連盟の会長さんに私たちの想いを添えて今年も支援金を贈りました。社会奉仕委員会では、岡崎委員長のリーダーシップの下、奉仕の森にはグリーンラインを愛する会の方々の協力を得て案内看板が設置されました。資源回収も例年通りおこなってみんなで汗を流しました。国際奉仕委員会では竹中委員長のアイデアといいますが、何かできることはないかということで外国人留学生に対する様々な支援を行いました。外国人のスピーチコンテストへの参加、協力が今年度から始まったことはとても意義深いことだと思います。職業奉仕委員会では、勝岡委員長がホームページでRCにおける職業奉仕についての在り方、ロータリークラブの奉仕の理想を学べる資料を掲載して頂きましたし、今話題のSDGSについては、佐藤さんのご子息で丸天産業の社長に卓話をしてもらって勉強しました。

奉仕以外の部分でも、福山西ロータリークラブとして胸をはれる活動をしてきたと思います。杉川ガバナー公式訪問では、親クラブの福山北RCさんも見守るなか、大植さんの入会式を行えたことは最高の例会だったと思っています。

さらに IM はコロナのことが心配される中、塩川ガバナー補佐から杉川ガバナーの意向をお聞きしつつ、宇田実行委員長、石岡副委員長をはじめ実行委員みんなで知恵を絞って、食事なし、アルコール無しという異例の懇親会を大成功させました。こうして思い返すと繰り返しますがこの1年、まさにやれることはやったんだと思います。

会長として私が反省すべきことは多分山ほどあると思われませんが、それは別の機会に率直に言ってもらえればと思います。

まず思い起こす大きな反省は、今年度、藤井彰人さんが退会されたことです。私は会長としてその連絡をご本人から頂いて、ちゃんとお会いしてお話を伺って、可能であればなんとか思いとどまってもらえるようお願いすべきであったのに、それをしなかったことです。

そして、結果として今年度会員数を増やせなかったことが一番の反省点です。黒木会員増強委員長も会員増強のためのアンケートを実施したり、いろいろと水面下でも動いてくれましたが、今年度の成果には結びつきませんでした。

例えば具体的にいうと、井上さんの再入会や、先日のオープン例会に来られた5名さんなど、もうちょっとのところで入会に至らなかったのは、最終的には私の会長としてのオーラが足りなかったせいだと思います。でも種まきはかなりできています。会計の尾熊さんがおっしゃった、我がクラブの平均的な活動を円滑に遂行するための損益分岐点会員数は40名というのが印象に残っています。みんなで笹田年度でその数に近づけたいと思います。

もう一つの反省は、やはり今年度大きなテーマにしていた、メンバー同士の結束を図ることが今一つできなかった点です。コロナ禍というおおきな弊害があったので仕方のない面もありますが、もう一工夫してなんとかならなかったかなあ、という思いがしています。今年はお互いをよく知り合うということの一つとして、梶原さんが例会前に一人ひとりの好きな曲をBGMで流すことをはじめましたが、こういったことをもっと増やしていければいいかなと思います。

用意した原稿は以上でございます。

.....ありがとうございました。







BGM♪
。竹中雅彦さん
ソング・フォー・エバー
語り継ぎたい
日本の名曲

【その他報告】

特にありません。